

刊夕 日三十月四



定額一圓五角... 發行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日新聞印刷局

念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

第五に、念珠は右に申した通り大切にせねばなりませぬけれども、言ふまでもなく本来、装飾品でもなくまた愛玩すべき骨董品でもありません。それゆゑ大切にすゝる意味を穿きかへて、徒らに値段の高さを求め、「他人より高價な念珠を持つてをる」との慢心が萌すやうなことを避けねばなりませぬ、また骨董品のやうにこれを愛用する傾きもなければ却つて染着を生じそれがために出離解脱の妨げとなること無きを保しませぬ。佛教の要は無慾恬淡にして執着なきを先決と致すものでありますから、數珠を念持するといへども、その心境は常にカラリと晴れたものでありたへと思ひます。

一〇、各宗派の念珠の異同と特色
釋尊御在世當時には、佛教に宗派といふものが無かつたやうに、念珠も亦その當時にあつては各宗派によりその種類を異にするといふやうな區別は固より無かつたのであります。その後年處を経て佛教が各宗派に分れそれ々の教理傳統

因縁を有つやうになると共に、その表象としての念珠も亦各宗派によりて形の上にならざるを得ず、宗派別から見た念珠の異同とその意味を左に申しあげます。
一、天台宗の念珠
日本の天台宗は、智者大師の開かれた天台宗の上に眞言密教と禪宗と律宗とが加はつた四宗一致の宗旨でありまして、言はば八宗の母胎ともいふ位置にありまして、その念珠も一方に偏せぬ正統を傳へてゐます。
何宗に限らず、其の祖師の愛用され相傳されて來た念じゆが、後々までの縁起として重んぜらるゝ傾きが多いのであります。日本天台の祖師、傳教大師の御所持なされた念じゆが只今にいたるまで江洲赤尾の西徳寺に傳へられてゐるさうであります。その念じゆは百八顆の水晶じゆで母しゆの上に銀製の菊座が七重つてある、さうして普通の念じゆとは反對に親玉と反對の方に四天じゆが着いており、記子は二十顆づつあり、末にいたるほど小さくなつてゐるといふことでもあります。
現今行はれて居る天臺宗の本格的な念じゆは百八じゆにして親玉は一個だけ着いて居る、普通には母しゆが二つあつて五十四顆二連を合した形態を備へてをりますが、それが一つであるといふのが特長であります。母しゆより數へて七つ目と二十一目に四顆じゆあり、記子は一方の房に九玉十個他の一方の房に平玉十個あるといふのが、これ亦この宗の特色と見られます。記子は母しゆから一顆づつ垂れ下つてをります。
二、眞言宗の念じゆ
眞言宗高祖弘法大師が唐朝の皇帝より賜はりて持ち歸られた念じゆは百八じゆにして、そのうち菩提子は九十六、水晶十六で貫線は赤であつた。また別に半數は印子、半數は黒玉の百八念じゆも賜はれたといふこととてこのほか師匠惠果阿闍梨より受けられたものは水晶玉の百八念じゆで、貫線は矢張り赤色であつたといふこととてあります。
それで眞言宗の念じゆは百八じゆを最勝とし、貫線は赤紐を通ずることを特色とし、念じゆは阿彌陀佛がその本誓を標示せられたものであると致します。

御花見の御催し

宴會等の節は
敷物、幔幕等準備致し置ますから大小に不拘御用命の程を御待して居ります。
折詰の御注文は特に勉強致します。

公園内
割烹 尼子亭
電話二三〇番

咽喉專門

平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

貨切り 専門優良車

乗心地の超特快適な
フォード最新型購入
何卒御用命願ひます
平町四丁目
鈴木自動車
タクシー部
電話二一七番

三月雛人形御道具類 特價大賣出し

例年之通り人形及御道具類並に高級御殿等豊富に取揃へ陳列いたしました。當店は元來御客様本意主義を以て大勉強いたします。
是非御用命程御待らいたします。
平町三丁目日本通り
落花生問屋
叶・加藤商店

難波

内科一般
醫學博士 難波陸
平町大町新川端
電話五〇二

磐城共濟病院

（福島縣平町）
電話六四二番

小兒科	院長 石山謙郎
婦人科	副院長 五十嵐雄二
皮膚泌尿器科	部長 有馬勇二郎
耳鼻喉科	部長 前澤正
外科	部長 石山謙郎
花柳病科	部長 石山謙郎
X光線科	部長 石山謙郎
衛生試驗局	局長 高後利雄
藥劑師	局長 鈴木寶雄
事務局長	鈴木寶雄

● 毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
● 夜間診療開始（毎夜午後十時マデ）
● 病室完備 入院隨意

有給外務社員數名募集

経験の有無、男女ヲ問ハズ奮闘家ヲ望ム
固定給ノ外旅費支給、希望者ハ履歴書持參午前中御來所ヲ乞フ
明治生命保險株式會社
平地方募集事務所
主任 小野勝康
（改長吉）
平町字仲町二四

耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院

醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番）
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

師團長宮の御親閲を仰ぐ

郡下の青訓生

来る廿日郡山市に於いて東久邇宮第二師團長の御親閲を仰ぐ郡下青年訓練所生大會の本郡出席者は目下入選中であるが光榮に浴する生徒は四百五十名に達し平町よりも廿餘名が出席する筈

就學獎勵

交附兒決定

平第一小學校では豫てより貧困兒童の本年度就學獎勵金交附該當者を調査中であつたが一年三名、二年九名、三年六名、四年六名、五年三名、六年二名の計三十名と決定近く同校に交附される

列車増結

青訓大會へ

平驛では別項郡山市の縣下青訓大會の出席者は多數に及ぶを見越し廿日午前六時四十二分發列車に客車五輛を増結すると

春駒大高値

田人で六割昂騰

最高八百圓に

田人村黒田の春駒せり市は去る十日から三日間黒田畜産場に於て開かれたが出場頭數百二十六頭、最高百四十圓で賣上げ總額七千七百六十圓、平均六十一圓十五錢八厘であつて昨年度平均三十八圓四十五錢に比して約六割の昂騰を示してゐる優良馬左の如し

▲牡一等(百二十八圓)小野卯太郎、二等(百二十圓)澤田夏治、三等(百圓)緑川義一、同様に良

生産表彰

石城産馬畜産組合では黒田春駒せり市を機に同地の畜

戸籍事務

研究会開く

産家中昨年度に三頭以上を生産したる左記七氏に對し十二日表彰状を贈つた
▲田人村緑川久太、緑川寅藏、緑川澄之助、緑川才次郎、緑川爲五郎、齋藤哲二▲荷路夫村齊藤徳太郎

工業品製産

平町役場が調査

昨年三月より本年三月に至る壹ヶ年間の平町に於ける各種工業品製産高町役場の調査左の如し
▲メリヤス製品―手袋一、九、六〇〇打(二一、一六八圓)▲帽子一三六〇打(一、二四〇圓)▲瓦一〇、〇、〇、〇斤(五、〇〇〇圓)▲土管二五〇ヶ(一二五圓)▲漆器八、七一一圓▲皮革製品三、一〇〇圓▲木製品二八一、五五〇圓▲竹製品六〇〇圓▲和紙一三、七一〇圓▲蠟燭二二、〇〇〇斤(五、九

製氷工場が竣工

江名濱でけふ祝賀會

江名町漁業組合では工費約五萬圓を投じて同組合所屬の漁船に供給する製氷工場を建設中の處この程竣工したので、昭和八年度優良漁船として優勝旗を授與されたる盛厚丸の披露祝賀會と併せて今日午前十時から同組合事務所樓上に於て盛大なる竣工祝賀會を開いた

泊り掛の不便免る

田人村道竣工

山田村井戸澤から田人村族人に至る延長約一里半の村道は従來泥濘甚しく加ふるに斷崖を控へ曲折ひどく山田村役場から田人村に行く往

永年國稅を完納

高久神谷兩村表彰傳達

復約五里の道を往時はとまりがけで往來してゐたが八年度の匡救事業として工費二萬壹千圓で改修中の所去

新車購入御披露

御待ち兼ねの一九三四年マスターセダン!!!本縣下の第一車が皆様の昭和へ入りましたニアクシヨン装置絶好の乗心地是非御試乗の程御願ひ致します。呼び良い電話三四〇〇番増設致しました。

昭和タクシー

電話(三四〇番)三四三番

市原醫院

平町 田町 電話一四番

平町人事

△出 生
△研町一 當時田村郡船引町大字船引字八幡一三 金成松次郎氏三男道男
△婚 姻
△仲問町二六 条藏氏二女 荻美佐子さん(二五)植田町字臺町二二山際國麿氏(二四)
△小商店員數名募集
年齢十五才ヨリ
優遇ス
御希望ノ方ハ午後一時ヨリ本人御來談下サイ
平町田町一七
レストランサロン
電話三五番

亡夫重之儀永々病氣ノ處養生不相叶四月十三日午前三時小名濱町字竹町假寓ニ於テ死去仕り候生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ御通知申上候
追而四月十四日平町ニ於テ茶昆ニ附シ翌十五日同町九品寺ニ於テ午後一時ヨリ午後三時マデ告別式ヲ相營ミ郷里群馬縣小泉町ニテ埋骨式執行致スベク候
四月十三日

妻 川井安子
親戚 三科宗橘
總代 木村質文
友人 清水廣政
佐藤庄太郎
濱崎善三郎
安島重三郎
總代

櫻咲く

祭禮頃には 境内見ごろ

縣社子鏡倉神社境内の櫻の老樹は數日來から蕾が大きなを加へてきたが昨日の暖さに誘はれたか二枝、三枝紅唇を綻ばし今日この心憎い雨に打たれながらしほらしく咲いてゐる、この雨が上つて二、三日溫暖が続けば祭禮の當日は丁度見頃だらうと言はれてゐる

刈野青年 平町見學

双葉郡刈野村青年團員並に産業組合員十五名は同村農會指導員西貞輔氏に引率され自轉車を驅つて同日日立鐵山を見學し昨日來郡警城炭礦及び神谷農試分場を見學して平町に一泊本日は平町役場裁判所、刑務所を見學の上歸郷した

植田管内 消防檢閲

終つて觀櫻
植田署管内二町八ヶ村消防組春季聯合檢閲は十九日午

貧困者救護

平町で八十三名 財界好轉か最近幾分減少

平町役場が昨年十月から本年三月までに取扱つた貧困者救護は六十世帯八十三名で延人員六千四百八十三名金頭七百五拾二圓五十五錢この内譯は十三萬以下の幼兒扶養が最高で十八世帯四十二名、延人員二千九百三十四名、二百四十九圓五十八錢これに次いで疾病傷疾治療の十九名、延人員一千六百五十六名、百六拾八

社會事業へ 無名で寄附

今十三日平町役場宛に一無名氏よりとして社會事業助成會基本金として二圓五十錢の寄附があつた

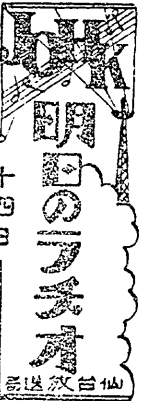
三々九度と 御神酒以外は 入遠野村で嚴禁

入遠野村助役野崎稻吉氏外數名の有志は此程禁酒會を組織し酒の有害を説いて會員の勧誘中であるが會員は

酌婦一名が 登樓客とドロン

浪花節を聞きに行く
前借金を置土産にして

警城セメント四倉工業所職工大野村生れ佐藤好之(三)は十日午後七時頃友人と二人連れで四倉町新町飲食店小松屋に登樓したが八時頃かねて馴染みの同家抱へ酌婦西白河五箇村大字舟甲生れ明珍イエ(二)山形縣西村山郡大字幸生生れ菊地キミエ(三)を伴ひ折柄同町四倉座に開演中であつた浪花節をききにゆくと外出したまゝ翌朝になつても戻らな



今晩も明日も北西の風曇天氣次第に良くなる

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話 音と色高野瀾
後六、二五 基礎佛語講座
(二九)山順太郎
後七、三〇 講演「統計より見たる日本の國民」
經濟法學博士 上田貞次

法曹團の花見

平區裁判所法曹團の觀櫻會は來る廿六日午後二時より公園内常盤亭に於いて催される

磐女の義捐金

磐女函館義捐金は職員生徒を合して五十三圓九十九錢を昨日縣社會課宛に發送した

第二校義捐金

既報平第二小學校の函館義捐金兒童より十二圓六十七錢、職員より十七圓三十三錢、計三十圓を纏め縣を経て昨日罹災地に送られた

娘・縁談を嫌つて 家出し奉公中を取押ふ

石川郡川東村大字一ノ堰八農新治二女佐藤タツノ(二)は今月初旬家庭の不和と好まぬ縁談を嫌つて家出したので實父から平地方にゐるらしいからと捜索方依頼中であつたが十二日平平四丁目飲食店高橋レン方に女

鎌田義舉精算

青年團の函館義捐金募集音樂と劇の夕は精算の上卅一圓七十一錢の純益を得たので今十三日役場に提出した

氣象通報

今晩も明日も北西の風曇天氣次第に良くなる

明日の部

前六、三〇 基礎佛語講座
(三)橋本忠失
前七、二〇 聖典講義「佛敎の要義」(一)山邊智學
前九、一〇 料理献立 中
曾根うめ子
前一〇、三〇 家庭婦人講座「箏曲」(二)宮城道雄
後八、〇〇 二絃琴 藤倉
芦水外大勢
後一、一〇 極東派遣野球チム選抜試合實況(神宮より中繼)
後二、〇〇 家庭婦人講座

裁判所たより

△安達郡新殿村大字杉澤字元末生れ住所不定菅野千次郎(〇)が本年二月五日より四月初めまで前後六回に亘り双葉郡久之濱字北畑酒井菊次方外三ヶ所に忍入り現金三十二圓自轉車一臺衣類五十枚等を窃盜した公判は昨日午後一時より平區裁判所法廷に於いて關口判事係り野木檢事立會のもとに開かれ檢事より懲役一年の求刑あり即決懲役十ヶ月を言渡された

平職案紹介所報告

回人を求める方
△女中 十五才 十八才位
尋卒 月三―五圓位
△女中 十五才―十七才
高卒 月五―六圓
△商店員 二十才前後 商業卒 初給五圓―十圓
回職を求める方
△理髮工 十八才 高一修
△事務員 二十四才 中學一年修
△職工 三十五才 高卒

◎店員募集

年令十五才以上希望者は至急御來所を乞ふ
◇委細面談
平町鍛冶町
牛久製菓所
電話三八七番

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町
電一七〇番

浮名新五郎

(禁絶映上及上演)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

七 鈴ヶ森の血煙

何を申すも昨夜寝なかつた上に、多くの人を斬り疲れるから、小田原の城不へ一泊した、之は甚だ大膽の仕業だが幸ひ役人の目にも拘らず、翌日出立いたして、江戸を差して来る途中川崎の宿、傍らの茶店へ入つて、休み見てゐると奥座敷で年頃三十五六でもありませうか、俠客とでもいふ風體の立派な男が、酒を飲んでゐる、此處の亭主も知り合と見えて、對手をしながら、頻りに何か話をしてゐる、權八も其の人を男らし人物だが、大方江戸の人であらうと、感心をして夫となく見てゐたが、纏て茶代を拂つて立出でました、奥の客は亭主に向つて「ナア新五郎、今の客は何處の若い衆か知らないが恰で女のやうな顔ぢやアねえか」

「さうですね、大方寺の稚兒上りでせう」
「之から何處へ行くのだから」
「さうでんんすね何と云つてゐたか店の女に聞いて見ませう」
此の茶屋の亭主は、此の川崎の宿で相當



暮してをります、また奥の客といふのは當時江戸で一と云つて二と下らぬ俠客、花川戸に住居をして諸家のお屋敷へ出入りをしてゐる幡隨院長兵衛といふ元締、

「さうか、道中の勝手を知れねえ人と見える此の頃鈴ヶ森は大勢の賊が出るといふ評判だ人の難儀を知つちやア打捨て置けねえ之か」

新五郎が江戸構へで済んだのも長兵衛の骨折だといふ噂がある位ゆえ、新五郎も元締と云つて大切にしている、長兵衛は鎌倉まで用達に行つた戻り、今夜は新五郎の處へ泊る心算で、緩く酒を飲んでゐる
「元締、店の女に聞いた處が今の若い衆は江戸へ行くのださうで、途中が物騒だから今夜は此の宿へ泊つた方が宜からうと止めたのださうですが、ナニ日も高いから江戸へ入れるだらうと云つて、急いで往つたさう

ら行つて見てやらう」
長兵衛は家内の者の世辭の言葉をしてドン／＼權八の跡を慕つて行く。

延寶八年の秋の末、此處は東海道新井ノ里鈴ヶ森、此の頃物騒な噂がある爲にまだ日暮り間もないのに、往來は杜絶えて濱邊に打寄せる浪の音ばかり淋しく聞える、折しも大森前面より編笠眞深に被り、合羽の袖を刀の柄に掛けながら、急ぎ足に參つた若武士、之ぞ別人ならず平井權八です、ふと見ると南無妙法蓮華經と書いた大きな石碑が立つてゐる、オ、之が名代の鈴ヶ森の處刑場であるかと笠の内より眺めながら通り過ぎやうとした時に「オット若そ、一寸待つた」

露披御車新

三四年型デラックスセダンが
入荷致しました
貨切の御用命の節は
電話六八五番へ……
是非御試乗の程を願ひます

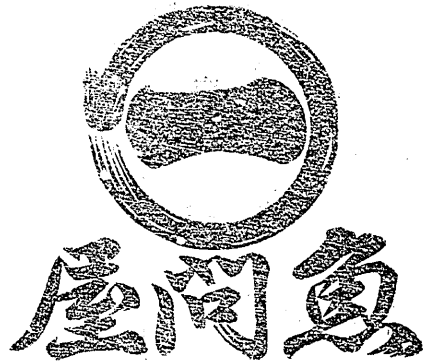
三井タクシー
電話六八五番

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番
一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

市貝焼

ウニヤキ

産子やあき



魚問屋
店理代平命生本日本大最優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

援後御署察警平

警察官



小杉 勇 主演・内田吐夢 監督
文部大臣賞受領・警視廳・内務省御後援・推薦映畫
見よ！ 非常時警察官の悲壯な雄姿!!!
十四日より 晝夜上映 世界館

ゼアラの自轉車 代理店
宮田自轉車
平局御用 エビスヤ自轉車店
宮田自轉車九率度郵便局納め
五千二百一十番

待望久しき新興の颯爽篇
十二日より堂々公開!!!